

事例 2

# 「保育参加」による育ちの共有で 園への理解や信頼を深める

花の井保育園 (千葉県・私立)

子どもが遊びを通して育つ様子は、実際に見てもらうことで、より実感が伴うものです。花の井保育園では、保育参加を通して子どもの育ちを保護者と共有し、信頼関係を深めています。

## 共に保育に参加する中で、子どもは遊びを通して育つことを実感する

### 子どもが特に成長する秋に実施 保護者同士をつなぐ工夫も

「当然のことですが、最初、保護者は我が子にしか目が向きません。しかし、子どもたちと共に活動する中で、子どもは友だちとのかかわりあいを通して育つことを理解していきます。そのように自分の子どもを客観的に見る力は、きっと小学校以降の子育てにも生かされるはずです」

そう語るのは、鈴木美岐子園長です。

花の井保育園では、園だよりや送迎時の会話、行事などさまざまな場面で、保護者が子どもの育ちや保育への理解を深める機会をもってほしいと考えています。その一環として重視するのが、言葉では伝えにくい子どもの育ちを体感してもらえる保育参加です。

こうした方針の背景には、園が新興住宅地に位置することから核家族が多く、子育てを頼る人がまわりにはいないため、子どもの発達の見通しをもちにくいという課題があります。



花の井保育園の開園は2003年度ですが、前述のような背景の中、子どもとともに活動する方がより保護者の理解が深まると考え、2005年度から保育参加を実施しています。子どもが成長してくる11月に2週間の期間を設け、1日1クラスに2人程度の保護者に参加してもらいます。少人数にしているのは、あまり多くとふだと子どもの様子が変わってしまうためです。保護者間のネットワークをつくるために、あえて日頃は顔を合わせない保護者を一緒にすることもあるそうです。

### おもちゃのとりあいも子どもの育ちを理解するチャンスに

保育参加の日でも特別な活動は

しません。9時から16時まで、保護者は子どもといっしょに遊んだり、給食や午睡の準備をしたりして、日常的な園生活を体験します。保育者は、保護者に対してあまり指示をせず、できるだけ子どもたちとともに自由に活動してもらうことを大切にしています。そのうえで、チャンスがあれば子どもの育ちを理解する手助けをします。福島みゆき先生は次のように説明します。

「例えば、2歳児クラスで子ども同士がおもちゃの取り合いをするのを見た保護者は慌てて止めようとしていますが、少し待ってもらいます。そして、ちょっとした支援によって、子どもが自分たちで仲直りをしていっしょに遊べることを見てもらうと、その姿に感心して子どもの見方が変わります」

また、午睡の数時間を利用した保護者との会話は、とても貴重なコミュニケーションの機会となっています。堅苦しい面談ではなく、折り紙を折るなどの軽作業をしながら打ち解けた雰囲気の中で話すことがポイントです。この時間に子育ての悩みなどを保育者や他の保護者に打ち明ける方も多いいいます。

### 子どもの姿を見ることで 保護者の気持ちがとけていく

保育参加を初めて実施した2005年度の参加率は50%前後でしたが、近年は80%を超えています。保護者の間に「子どもの姿を見られるし、先生ともじっくり話せる」という評判が広がった影響が大きいといえます。

事後のアンケートは好意的な感想が大半を占め、園のねらい通り、子どもの姿に成長を見出して子どもの理解をより深め、感謝や喜びの声を寄せる保護者が少なくありません。

「子どもが蚊に刺されたり、小さな傷をつくったりするたびに、園に対して強く注意をする保護者がいました。保育参加のとき、その方は自分の子どもが土手で転げ回って遊ぶ姿を見て初めは心配そうでしたが、これがきっかけとなり、次第に『子どもが楽しそうならそれでいい』と温かく見守っていただけのようになりました」(福島先生)

子どもの育ちを共有することは、園への信頼感が確実に深まる効果もあるようです。

### 保育参加後の 保護者(3歳児)の感想

- 「昨年より、友だちとのケンカの仲直りが上手になっていて驚きました」
- 「集団の中で流れに合わせて遊べていることに感心しました」
- 「家とは違って、きちんと食事ができていることに驚きました」
- 「先生が子どもを上手に寝かせる様子を見て感心し、安心しました」
- 「先生の子どもへの声のかけ方などを見て、自分自身の子どもへの接し方を見直してみようと思いました」

### 園の工夫 4つのポイント 保育者にも保護者にも無理なくできる保育参加の工夫

- 1 時期…子どもが成長し、園の生活も落ち着く11月に実施。大きな行事がなく、過ごしやすい気候であることも理由。
- 2 募集…事前にプリントを配布し、第3希望日までを提出してもらい、主任保育士が調整。
- 3 人数…1日1クラス2～3人。多過ぎると、子どもが落ち着かなくなるため。
- 4 活動…9時～16時に参加し、日常的な園生活を体感してもらう。特別な活動を用意しない分、保育者の負担も少なく済む。また、ケンカから仲直りまでの場面など、できるだけ遊びの中で育つ場面を見てもらえるように努める。

### 花の井保育園

◎2003年、柏市北部の住宅地に開園。園舎は木造平屋の開放的な造りが特徴です。周辺には緑豊かな公園や田んぼ、土手などがあり、子どもたちは自然豊かな環境の中で遊びのびと遊んで育ちます。

園長 鈴木美岐子先生  
所在地 〒277-0813 千葉県柏市大室1285-12  
園児数 定員90名 在籍107名(0～5歳児) ※2011年3月現在



### 保育参加中の様子



子どもを見る視野を広げてもらうため、できるだけ我が子以外の子どもにも接するように伝えています。



外から眺めるのではなく、散歩中も子どもと手をつなぐなど活動に入り込んでもらいます。